

1. 【開催案内】公開シンポジウム「科学的知見の創出に資する可視化：日本発の可視化研究ブレイクスルーに向けて」
2. 【お知らせ】土曜日・日曜日及び祝日の会議室利用に関するお知らせ

■-----

【開催案内】公開シンポジウム「科学的知見の創出に資する可視化：日本発の可視化研究ブレイクスルーに向けて」

-----■

12月15日に、乃木坂の日本学術会議講堂で、日本学術会議公開シンポジウム「科学的知見の創出に資する可視化：日本発の可視化研究ブレイクスルーに向けて」が行われます。日本学術会議に可視化をテーマとする分科会が設立されたことに応じたシンポジウムです。可視化という研究分野を、ビッグデータを扱う文理融合型研究の時代を見据えて、大胆にリストラクチャリングする可能性を探ります。入場無料、事前申し込み不要です。ご興味をお持ちの方は奮ってご参加ください。

○主催：日本学術会議 総合工学委員会
科学的知見の創出に資する可視化分科会
○日時：2018年12月15日（土） 13:00～18:00（予定）
○場所：日本学術会議講堂 外1室（東京都港区六本木 7-22-34）
東京メトロ千代田線「乃木坂」駅5出口
<http://www.scj.go.jp/ja/other/info.html>

○参加費：無料、
○事前申し込み：不要
*当日はお名刺をご用意ください。

開催趣旨：

1980年代に欧米の研究機関から発信が開始され、種々の学理に浸透してきたデータ可視化技術は、現在、成熟の域に達しています。一方で、データ可視化技術の新たなブレイクスルーが模索されていますが、現状は混沌として

おり、様々な提案がなされているものの、大きな流れは生じ得ないというのが現状です。そこで本シンポジウムでは、可視化という研究分野の枠組みを大胆にリストラクチャリングし、同時に、文系・理系の垣根を越えた文理融合型の研究分野として発展させるためのアイデアを探ることを目的としています。とくに、日本の強みを活かした日本発の新しい可視化技術の創出を目指します。理系・文系にかかわらず、多くの研究者や技術者、そして可視化技術に興味を持つ多くの方々にご参加いただければ幸いです。

プログラム、問合せ先につきましては、以下をご参照ください。

<http://www.scj.go.jp/ja/event/pdf2/265-s-3-3.pdf>

■-----
【お知らせ】土曜日・日曜日及び祝日の会議室利用に関するお知らせ
-----■

土日・祝日のうちシンポジウム等が開催されている日に限り、日本学術会議の用務のために会議室を使用することができます。

現在、以下の日程で、土曜日・日曜日及び祝日にシンポジウム等の開催が予定されておりますので、この日程のいずれかで委員会等のために会議室を使用した場合には、委員会等を担当する職員に開催1か月前までにご連絡ください。なお、土日及び祝日における会議室の利用は、原則として午前10時から午後5時までの間となります。

◆会議室利用が可能な土曜日・日曜日及び祝日

- ・平成30年12月2日（日）
- ・平成30年12月9日（日）
- ・平成30年12月15日（土）
- ・平成31年1月12日（土）
- ・平成31年1月14日（月・祝）
- ・平成31年1月26日（土）
- ・平成31年2月3日（日）
- ・平成31年2月9日（土）
- ・平成31年2月23日（土）
- ・平成31年3月21日（木・祝）

★-----☆

日本学術会議では、Twitterを用いて情報を発信しております。

アカウントは、@scj_info です。

日本学術会議広報の Twitter のページはこちらから

<http://krs.bz/scj/c?c=300&m=45122&v=6f47513c>

学術情報誌『学術の動向』最新号はこちらから

<http://krs.bz/scj/c?c=301&m=45122&v=caccc132>

=====

日本学術会議ニュースメールは転載は自由ですので、関係団体の学術誌等への転載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読みいただけるようにお取り計らってください。

【本メールに関するお問い合わせ】

本メールは、配信専用のアドレスで配信されており返信できません。

本メールに関するお問い合わせは、下記の URL に連絡先の記載がありますので、そちらからお願いいたします。

=====

発行：日本学術会議事務局 <http://krs.bz/scj/c?c=302&m=45122&v=ff217761>

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34